

# 東アジア資本主義 形成史論

中村哲著  
古書

## 東アジアにおける資本主義の形成

—中村哲著『東アジア資本主義形成史論』を読む—

■報告：植村泰夫氏(広島大学)「東南アジア史から(インドネシア史を中心に)」  
久保亨氏(信州大学)「近現代中国資本主義の強さをめぐって」  
長島修氏(立命館大学)「日本経済史研究と東アジア資本主義」

■リポーター：中村哲氏(京都大学) ■コーディネーター：堀和生氏(京都大学)

■日時：2019年12月7日(土) 13:00~17:00

■場所：京都府立大学 稲盛記念会館2階 205教室

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 地下鉄烏丸線「北山駅」から徒歩5分

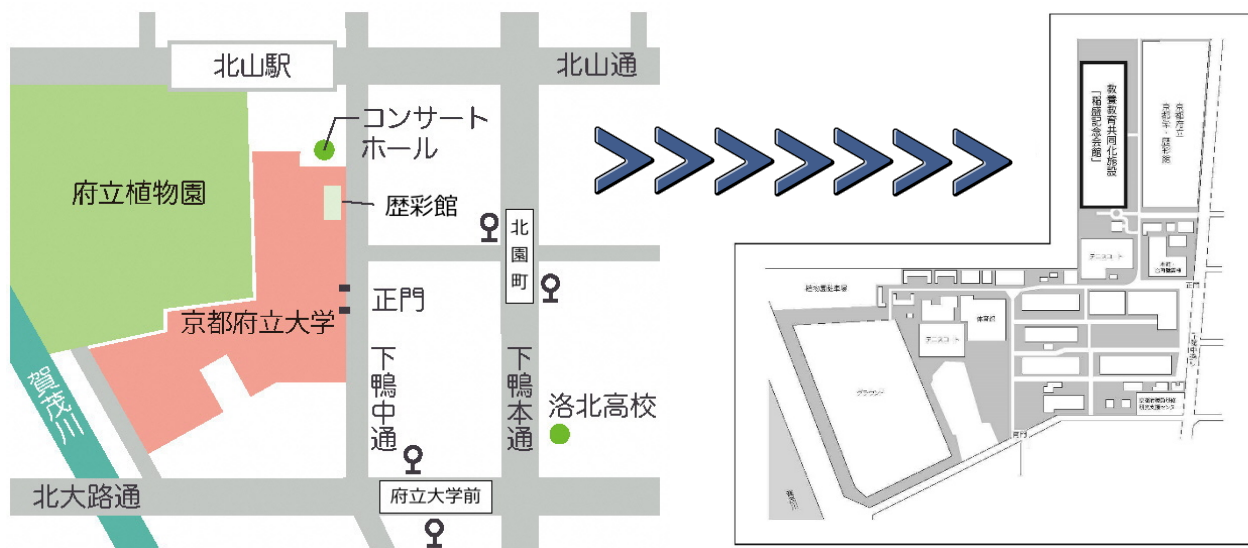
■参加費：無料

■主催：京都民科歴史部会 ■共催：日本史研究会・中国現代史研究会

中村哲氏の著書『東アジア資本主義形成史論』（汲古書院、2019年4月）が上梓された。中村氏は、1990年代以降、比較史の方法をもちいて、日本・中国・韓国を中心とする東アジアにおける資本主義形成の特質を明らかにしてきた。そのうち2001年から2010年までの研究成果を3編8章にまとめたのが本書である。

12月例会では、堀和生氏をコーディネーターにむかえ、日本経済史の長島修氏、中国経済史の久保亨氏、インドネシア経済史の植村泰夫氏が自らの専門分野から書評をおこなうとともに、東アジアのなかでの比較を通じたコメントも加える。それらに対する中村氏のリプライを含めて総合討論をおこなうことにより、東アジアにおける資本主義形成の歴史的特質を明らかにするとともに、現代世界資本主義の歴史的な段階についても全体的な討論をおこないたい。

## 京都府立大学 アクセスマップ



## 問い合わせ

京都民科歴史部会事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学文学部 金津日出美研究室気付

E-MAIL : kyotominka@gmail.com